

## 2022年度 キャリアデザインⅡ スケジュール案 2022年1月19日

No	日時	講師 (注1)	テーマ	室	備考
1	4/14(木) 12:50 ~14:20	堤 宏守 創成科学研究科教授、異分野融合研究プロジェクト事業統括	私の考える異分野融合研究		博士後期課程・博士課程学生の皆さんは、それぞれの専門分野をもって日々の研究を実施していると思います。それは、皆さんの強みではあるのですが、他者の視点から自分の専門分野は、どう見えているか、という振り返りもとても重要なことと思います。異分野融合研究について、考えることは自分の研究の立ち位置を明確にすることにも役立つはずで、そのような話ができればと思います。
2	4/21(木) 12:50 ~14:20	兵動 正幸 CP室アドバイザー	申請書の書き方		自立した研究者は自らの研究資金等を獲得することが求められる。その際、審査員に理解を得るように申請書を書くときの留意点を、具体例を挙げて述べる。
3	4/28(木) 12:50 ~14:20	望月 信介 創成科学研究科教授	大学院における研究と社会		大学という研究環境の中で、博士課程の学生が何を大切に自らの研究を進めていくべきか、機械工学に関する研究を振り返り、また、博士課程学生の研究指導の経験を踏まえてお話しする。
4	5/12(木) 12:50 ~14:20	坪郷 浩一 坪郷計算工学研究所 所長	自立した研究者になるための心構え		本講義では、講師が実践してきた技術開発および人材育成などについて紹介します。また博士号取得へ向けての心構えについて説明します。
5	5/19(木) 12:50 ~14:20	藤井 一宏 研究推進機構URA	企業OBによる、企業で求められる人材と、県内の有力企業の紹介		大手化学メーカーの面接官の経験もあるOBから、企業の求める人物像と、県内のユニークな有力企業についてお話しします。
6	5/26(木) 12:50~14:20		予備日		
7	6/2(木) 12:50 ~14:20	野崎 浩二 創成科学研究科教授、理学部	企業における研究開発業務と大学における研究業務	5	企業における研究開発業務と大学における教育研究業務の両方を経験した演者が、それぞれの目的の違いから生じる特徴やそれぞれの業務におけるやりがいについて紹介する。
8	6/9(木) 12:50 ~14:20	宮田 浩文 創成科学研究科教授、農学部	私の研究戦略論	5	各人のこれからのキャリアの参考にしてもらうために、私自身および私がこれまで指導してきた博士課程の学生の研究経過・成果およびその後の進路等について紹介する。
9	6/16(木) 12:50 ~14:20	岡林 千夫 安川電機みらい館館長	グローバル化時代の研究者・技術者 ~ グローバル化時代を生き抜く研究者・技術者 ケーススタディー ~		海外経験豊富な講師が、海外駐在中にどのように考え何を学んだか、その経験談を踏まえて、海外で活躍するためのマインドセットや多様性を受け入れるコツを披露する。あわせて、講師の所属企業である安川電機が、世界に誇る産業用ロボットの現状と将来について語る。
10	6/23(木) 12:50 ~14:20	岡本 篤志 日立金属 グローバル技術革新センター	企業における博士の価値と役割		グローバル化が加速的に進んでいる現在において、企業が博士人材へ寄せる期待は大きい。一方で、近年の急速な技術・経済の進展に伴って、企業における博士の価値や役割は大きく変化してきている。「期待」と「変化」のギャップを理解し、今自分たちがすべきこと、これから目指すべきことについて考察・議論する。
11	6/30(木) 12:50 ~14:20	森本 将弘 共同獣医学研究科教授	私の研究戦略論		各人のこれからのキャリアの参考にしてもらうために、私自身の事を中心に、私がこれまで指導してきた博士課程の学生の事も含めて研究経過・成果 およびその後の進路等について紹介する。
12	7/7(木) 12:50 ~14:20	山口 徹 (株)TSテクノロジー代表取締役	起業するという選択肢 - 大学発ベンチャーの経験と教訓- (1)		キャリアパスの一つに「研究成果を用いて起業」という道がある。本講義では、講師が大学発Vを起して得た経験と教訓、苦労や面白さなどを紹介する。また、会社設立手続きを疑似体験し、起業をより身近なものとする。
13	7/14(木) 12:50 ~14:20	山口 徹 (株)TSテクノロジー代表取締役	起業するという選択肢 - 大学発ベンチャーの経験と教訓- (2)		
14	7/21(木) 12:50 ~14:20	葛 崎偉 教育学部教授、東アジア研究科担当	私の企業および大学における研究開発の体験談		将来、研究職を目指す博士後期課程の皆さんに参考してもらうために、私自身の企業と大学における研究開発の体験談を踏まえつつ、基礎的知識を進展させる基礎研究と目的に応じて実用化を目指す応用研究について、両者の共通性や関連性やアプローチの違い等を紹介する。
15	7/28(木) 12:50~14:20	町田 尚史 岡山大学全学教育・学生支援機構准教授	博士人材における職業選択と自己実現 - 予測し、行動する - (1)		アカデミア、ノンアカデミアを問わず高度教育人材である博士人材に対し、社会はどのような能力・資質・経験・人格・考え方を望むのかについてまずレクチャーする。とりわけシンギュラリティの時代を迎える中では、深い自己認知をもとに大きなパラダイムの転換が望まれる。次の時代を予測し、次代に要請されるトランスファラブルスキルについて、受講生の皆さんと共に考えたい。
16	7/28(木) 14:30~16:00	町田 尚史 岡山大学全学教育・学生支援機構准教授	博士人材における職業選択と自己実現 - 予測し、行動する - (2)		

注1 職名は令和3年度のものです。

キャリアパスデザイン推進室

事務室：工学部学務部学生係 担当 大川 ☎0836-85-9983 e-mail: career@yamaguchi-u.ac.jp